



連続ティーチイン

## 交差するパレスチナ

～新たなわたしたちのつながりを求めて～

第1回

# パレスチナとの交差を 見つけだすために

発題者：金城美幸さん

きんじょう・みゆき 立命館大学生存学研究所プロジェクト研究員。パレスチナ難民たちの故郷についての歴史構築の過程を研究。主な論文に「歴史認識論争の同時性を検討するために—イスラエルと日本」『現代思想』(2018年5月号)、「『虐殺』の物語の奥行き—『デイル・ヤーシーン』の解題と翻訳」『東洋文化研究所紀要』171(2017年)。

今パレスチナで起きていることが、私たちとどのようにつながり、私たちの直面する課題と  
いかに交わっているのかを深く理解するために、多様な視点から学び、語り合う連続ティーチ  
インのオープニング企画です。

金城美幸さんを発題者に招き、パレスチナが今日の状況に至った歴史的過程を振り返りつつ、  
交差性（インターセクショナルリティ）という視点からパレスチナを考えるための見取り図を提  
示します。

パレスチナ問題にかかわらず、様々な現場で課題に取り組んでいる皆さんと共に学び、交流  
し、理解を深めたいと願っています。

Zoomを使ったオンライン企画です。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時：2021年11月5日（金）  
午後7時～9時

オンライン（Zoom）開催

参加費：1000円

申込：下記のPeatixからお申込ください。

<https://palestineteachin2021.peatix.com>



※お申込みくださった方に参加  
に必要な情報をお知らせしま  
す。  
※当日参加できなくなった場合  
も返金はできません（期間限定  
の録画視聴アドレスをお知らせ  
します）。

主催： 在日本韓国 YMCA  
企画・運営： 連続ティーチイン実行委員会  
後援： 新教出版社

1906年に創立された在日本韓国 YMCA は、国内  
外のマイノリティの課題、人権や正義の問題に関与  
する中で、パレスチナの仲間たちと出会い、2006年  
以降東エルサレム YMCA との交流を進めてきました。  
本企画は、この交流を通してパレスチナを訪ねたメ  
ンバーたちが中心となって委員会を組織し企画・運  
営されます。

お問合せ先：

在日本韓国 YMCA 国際文化部  
担当：田附（たづけ）

TEL 03-3233-0614  
e-mail [kokusai@ayc0208.org](mailto:kokusai@ayc0208.org)

# 連続ティーチン 交差するパレスチナ ～新たなわたしたちのつながりを求めて～

主催:在日本韓国 YMCA 企画・運営:連続ティーチン実行委員会

パレスチナについて考えると、何をすることなのでしょうか。イスラエルによる攻撃のたびに流されるニュース映像は、現地の様子を視覚的に伝える一方で、パレスチナを遠く離れた地として描写し、それを見る人の生活空間から切り離してしまうようにも思います。こうした傾向に抗って考えをめぐらせ、パレスチナとの共闘と共生の地平を切り拓くために、今回の連続ティーチンは交差性（インターセクショナリティ）を手がかりとして企画しました。人種、性、宗教などの差異が相互に交わりながら成立していることを示す交差性の視点は、パレスチナを分断し隔絶させる力学を浮かびあがらせるだけでなく、それを乗り越える抵抗の実践に学び、連なる手がかりともなりうるでしょう。同じであることと別であること、選択肢はどちらかだけではないはずで

交差するパレスチナをめぐり、発題をうけて問いを深めていく八夜を通じて、新たなわたしたちのつながりをともに作りだしましょう。

**【今後の予定】** ※各回 19:00-21:00 開催です。回により曜日が異なりますので、ご注意ください。

## 「パレスチナとの交差を 見つけたすために」

第1回  
11/5(金)

金城美幸さん

立命館大学生存学研究所プロジェクト研究員。  
パレスチナ難民たちの故郷についての歴史構築  
の過程を研究。

## 「パレスチナと在日朝鮮人」

第5回  
1/12(水)

中村一成さん

ジャーナリスト。1969年大阪府寝屋川市生まれ。新聞記者を経て2011年からフリー。在日朝鮮人や移民、難民を取り巻く問題を主なテーマに取材、執筆をしている。

## 「パレスチナと資本主義による略奪 ——対抗／ロジスティクスの視座から」

第2回  
11/19(金)

北川眞也さん

三重大学人文学部教員。専門は地理学（政治地理学、境界研究）。地中海のランペドゥーザ島をはじめ、イタリアをフィールドに研究中。

## 「パレスチナと日本の社会運動」

第6回  
1/21(金)

太田昌国さん

編集者・評論家。帝国一植民地問題を軸に据えて、世界－東アジア－日本の歴史と現状を批判的に分析する作業を続けている。

## 「アメリカ黒人解放闘争と パレスチナとの連帯」

第3回  
12/3(金)

阿部小涼さん

琉球大学人文社会学部教員。大学では国際社会学、社会運動論、カルチュラル・スタディーズ、エリア・スタディーズ等を担当。

## 「ジェンタイル・シオニズムと パレスチナ解放神学」

第7回  
2/4(金)

役重善洋さん

同志社大学人文科学研究科嘱託研究員。大学非常勤講師。第二次インティファダ勃発直後のパレスチナを訪問して以来、パレスチナ連帯運動に参加。

## 「パレスチナと性／生の政治」

第4回  
12/17(金)

保井啓志さん

東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程。専門はイスラエルにおける権利をめぐる運動、ジェンダー・セクシュアリティ研究、批判的動物研究。

## 「パレスチナと共闘するための宗教」

第8回  
2/16(水)

早尾貴紀さん

東京経済大学教員。ヘブライ大学およびハイファ大学に客員研究員として2年間在外研究。パレスチナ/イスラエル問題、社会思想史。